

経営比較分析表（令和6年度決算）

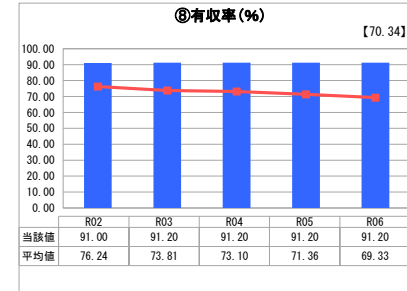
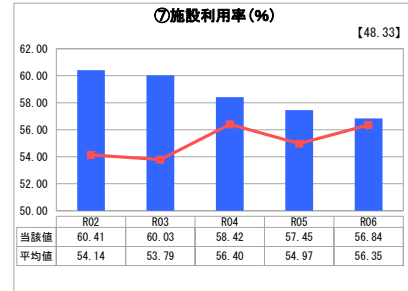
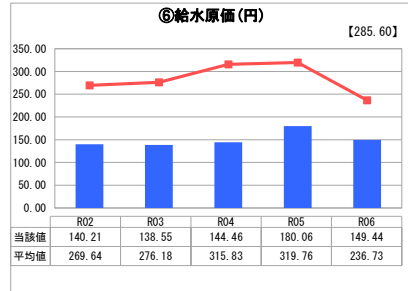
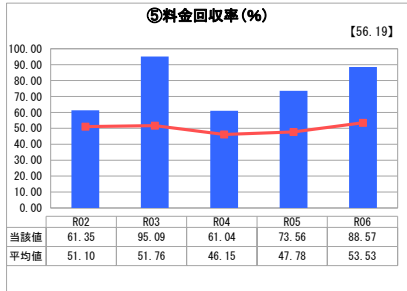
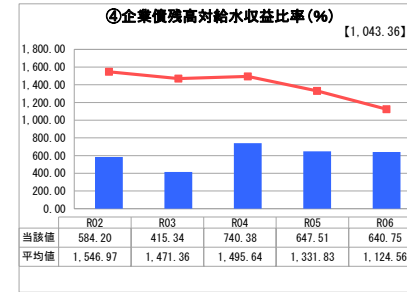
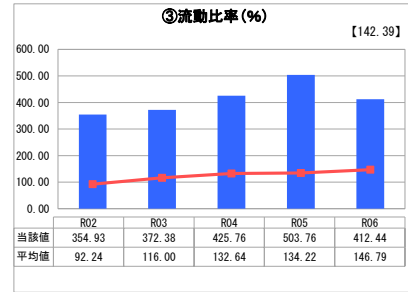
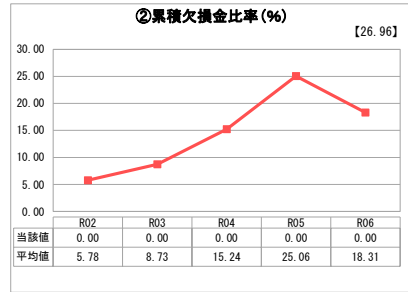
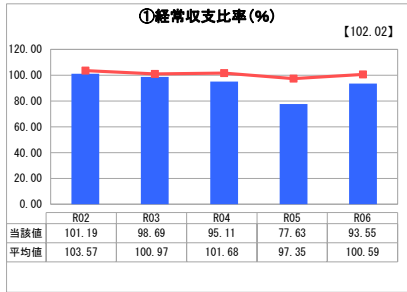
岡山県 和気町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	56.25	60.24	2,612	

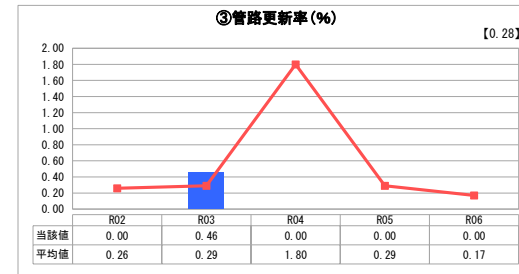
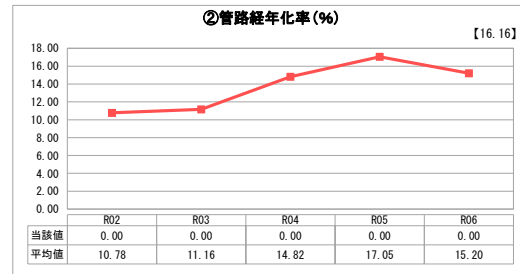
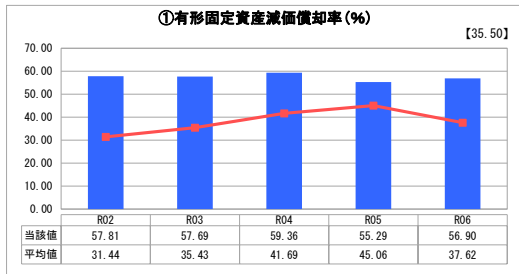
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,871	144.21	89.25
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
7,692	27.11	283.73

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については、長期前受金戻入の増額等により増加している。
 流動比率については、前年度から未収金の減額等により減少することになった。現状では、類似団体に比べ高い数値で推移している。
 企業債残高対給水収益比率については、類似団体と比べ少ない傾向にある。
 料金回収率は、給水原価が減少したことにより回収率は増加したが100%を下回っている。
 給水原価については、長期前受金戻入の増加等により給水原価が下がった。類似団体と比べて、低い水準であるが、今後も更なる適正な維持管理に努めていく。
 施設利用率については、ほぼ横ばいで推移しているが、将来の人口減少等に踏まえ、施設の統廃合等の検討を実施していく。
 有収率については、近年、横ばいで推移しており、今後も適正な管理に努めたい。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、近年、横ばいで推移しており、類似団体に比べて、高い数値となっている。施設の法定耐用年数が近づいている施設もあるので、今後は、計画的な施設更新を考えていく。
 管路経年劣化及び管路更新率については、過去数年間平均してみると低水準で推移しているが、保有資産の計画的な更新を進めていく必要がある。

全体総括

経営の健全化に向けて、更なる維持管理の効率化で経費削減に努め、適正な料金改定を進める必要がある。また、施設の老朽化に備え、浄水・配水施設や管渠等の計画的な更新を進め、健全な事業運営に努める。